

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 一番大変なこと、やりがいを感じること。

②

【講座の感想】お話を聞いての感想

この仕事に就きたいと思、た理由(きっかけ)が、「正義の味方になりたか、たから」で、とてもか、こいいなと思、ました。私は、正直新聞記者という職に文、対してあまり良いイメージを持、ていなが、たのですが、今回のお話を聞いて、新聞記者も一人の人間であり、精神的に辛いこともたくさんある上で私たち読者に情報も提供してくれているんだと知りました。そして、意外に思、たのは、休日の多さでした。休む暇なんてほとんど無くて、常に動き回、っているようなイメージだ、たので驚きました。私は普段あまり新聞を読みませんが、少し目を通してみようと思、いました。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

①

②

【講座の感想】お話を聞いての感想

「地域誌だからこそ」という言葉を何回も使われていて、地域愛が伝わってきました。一番心に残っている事は、

「勉強は誰よりも頑張った。(高校時代)」と

おっしゃっていた事です。私は、今勉強も部活も

頑張っているけど、「誰よりも」と言い切れる

ほどではないし、中途半端な気がします。

何か一つ、「誰よりも頑張った!」と言えるくらい

のものを作りたいと思いました。年が近いという

事もあり、進路の事なども丁寧に教えて下さり

ました。喜田先生の話は一生忘れないと思います。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 新聞を作るのにあたって大切なことは何か

② 記事を書く上で気を付けていること。

【講座の感想】お話を聞いての感想

今回、喜田さんの話を聞いて一番印象に残ったのは、喜田さんの新聞社に勤務した理由が、世の中に1つの正解はないという言葉を聞いたとき、確かに正解は1つだけじゃない、いろいろ見方から考えられると思います。喜田さんはいろんな視点で伝えた、というところの思考はなかった、と思います。私は文系なので、取材をして自分の言葉とかで世に伝えられるのはすごくやりがいを感じられる、と思いました。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 大変だろと思うこと。

② 勤務時間の長さ。

【講座の感想】お話を聞いての感想

喜田氏のお話を聞いて新聞社の仕事は
とても777の仕事だろと思った。休みが固定
されていながら取材をするために長い時間、人を待
たたりしむいといけるいりだ大変な仕事だろと思
った。でも大変な仕事の後にはすごい充実感か
あると思うのですごいやりがいがあるだろうと思
った。新聞社の記者にとって、大事なのは小ま
ことにも気がつけるかでそれを楽めることも必要
だということが分かった。二本からは新聞にで
きるだけ多く目を通いて知識を増やし、将来に
役立てたいと思った。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

①

②

【講座の感想】お話を聞いての感想

「記者=男の人」のイメージが強かったから、今回

お話ししてくださったのが女性で少し驚いた。

私は以前から新聞記者の仕事に興味があったから、

これからお話を聞くことになって、本当に良かった。

休みや仕事時間か不規則であるを聞いて、た

たてさえ、規則正しい生活を送っていない。私か

そうや、自己管理できるのか、少し心配に

なった。

新聞を通して様々な人を知ることが、時には

力をくれる。新聞記者はすごく鬼才的であ

ると感じた。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 仕事の魅力

② 仕事を通して大事にしていること

【講座の感想】お話を聞いての感想

新聞記事を毎日書がないといけないのでとても大変そうなお印象を受けました。しかし、JICAの影響で記事のネタが限られていて、とても苦労されていることを知りました。日によって仕事の流れは変わっていることを知って、大変そうだなと思った。しかし、毎日三田についての記事を書き続けられていることがすごいと感じました。取材をするとき特にインタビューでは相手が話し終わるまで待つことを心がけていたり、予備知識を頭に入れておいたりしていることが分かりました。できるだけ新聞に目を通すようにしたいと思いました。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

①

②

【講座の感想】お話を聞いての感想

とっちはいいけれど、神戸新聞はたまに見たりするのど身近にとってもおもしろかったです。喜田さんは小2から双玉に興味があったらしく、その小2の頃の夢を実現させ、かつ、自分がしたかった仕事なので楽しくやっているところが尊敬しました。三田の記事を書くために三田に住んで、住民のみんなと同じ目線で三田を見るころころはプロだなーと心で感心しました。観察者1日(時間)1回電話して、夜にえんじと話し情報も集めるところもプロだと思って神戸を読もうと思った。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

①

②

【講座の感想】お話を聞いての感想

新聞社の仕事は日々の過ごし方が毎日変わり、
休みも不定期であるため、大変そうだと感じた。
新聞というものは読者に対してその出来事について
の判断材量を与えてくれるものであって、自分の
意見などを押しつけないという事がわかった。
何かの事件の取材では取材した相手
などにけむたがられたり、感情移入してしま
って精神的にキツいんだと思った。

誰にも負けない何かを作、てそれを自
分の自信にすれば色々なことに挑戦でき
るとわかった。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① たいへんなことを

②

【講座の感想】お話を聞いての感想

今回の講座で っのこを学びました。1つ目は、大卒以上の基準があるということ。学校の教師とかは、大学を卒業して、教員の資格をと、T-Yするものだよ。新聞記者も、大学をでなければならぬということにおどろきました。2つ目は、形容詞をっかひないということ。形容詞をっかうのは、あまりよくないときいておどろきました。なぜT^hめなのか、またくちしくしりたいです。ニんまであまり、新聞は、おまなか、T-Yれど、ニんからおんで見ます。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 新聞を作る上で工夫していること

② 大変なこと

【講座の感想】お話を聞いての感想

僕は今回の話を聞いて、新聞記者についての
価値感がとても変わりました。一番意外だった
のは、休みがし、かりあることでした。テレビなど
で見てイメージしていた記者はずっと張り込んだ
り、仮眠ばかり生活バランス崩壊しているた
たので、とても意外でした。また、新聞は時々
読んでいけるけれど記者本人の話を聞いて
も、と色々な視点から新聞の記事を読める
気がしました。将来、新聞記者になるうとは
思わないけれど見聞が広くなるとてもよめ
たです。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

- ① 所属先はどのようにして決まるのか
- ② 休みをとれるのか

【講座の感想】お話を聞いての感想

新聞記者にふ学生の頃からなりたいかうと聞いて、うす
やしく感じた。私は昔からなりたい職業がなかった
ので、昔からなにかあるのはすばらしいことだと感じた
新聞記者は自分が考えたよりも、とても自由な
感して少し驚いた。最近な5.最初は休みをとれな
いくぶんいいと考えていたからた。ただ、若手は
警察署の19.24.など、なりたいいへんだと考えた。
喜田先生は地方紙、三田のことについて書いて
いて、そういう仕事をしていると地域の人たちとの
ながりが深く、取材した人たちと食事などをとることもあ
るといって、とてもいいなと感した。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 仕事の中で一番大変なことは何か

② 仕事をしていてどういった時にやりがいを感ずるか

【講座の感想】お話を聞いての感想

ある一つの物事に対して一つの視点だけではなく色々な見方をしてみることが

世間に伝えるのが記者の仕事だという言葉がとて心に残りました。

今まで新聞記者の仕事について深く考えたことはありませんでした。

案件休みもあり、女性の記者が多くは、いるため育休などのこともわかるように

は、なっている等、新しいことを知ることができて良かったです。社内での人間

関係より外の人との人間関係の方が深いというは少し意外でした。また、

新聞では実名を出せないとネットでは出せないので残るところからということ

も知れて良かったです。また、喜田さんの将来に向けたアドバイスである

「やめた」と自分が思うことはやめよう、「面接100に打撃」として

にと言えようとする、という言葉も忘れずに、これから高校生活を

過ごしてみたいと思います。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 朝、何時に起床していますか？

② 1日何事とどけていますか？

【講座の感想】お話を聞いての感想

新聞社になろうとしたきっかけを聞いて一番印象に残っているのが、正義のヒーローになりたいと新聞社を小学生から目指したという事です。とこもからいいなと思ったし、小学生の時から夢が変わっていないことも熱い気持ちが行くべきと驚かされた。私は、新聞は個人の意見や考えを押し付けている物というイメージが私の中にあっただけ、実際は私達が世の中で起きていることに対して自ら考えられるように判断材料として新聞を作っていると知って初めて知れたし、新聞を「読んで」のみにあらずにはなく、そこから自分の考えを深めたいから読んでほしいという事にも気付かされた。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① コロナによる影響はどのようなものか、

② 今までとりあげた記事の中でおもしろかったものは何ですか。

【講座の感想】お話を聞いての感想

新聞は正解、不正解を見つけてのだけではなく、世の中には色々な見方から様々な考えがあるのだ"ということを細かく書いて読者に伝えるものであると先生は言っていました。日本の新聞では情報操作などにより自分の都合の良い記事にしたがるものが多いと私は学びました。でも先生は正當に記事を書いているのだ"なと話から感じ取ることもできました。新聞社では永遠記事を書いているのかと思っていたけれど、常に忙しなく動き回っていることがわかりました。警察に1時間ぶき連絡したりと体力的にも精神的にも大変な職業だと思いました。でもこれ乗り越えてできた記事は必ず誇らしいものになると思いました。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

- ① 目には見えませんが、^{社会を拝見する時} 何かのあたりへ、ほしいものはありますか
- ② 求められるかあるか

【講座の感想】お話を聞いての感想

今日のお話を聞いて、僕が思ったことは意外だ、という
ことです。具体的に何か意外だったのかというと、喜
田さんもおっしゃっていたのですが、新聞社と聞くと
よく「強かな(論法)」、危険な(思想)、「強(主張)」
というマイナスなイメージがある方も少なくないと思
います。ですが実際にお話を聞かせていただいたと
本当に熱心に新聞について語り、おられて本者に
この仕事のことから女子まで情熱をもて働いておられる人
だと感じ、イメージがガラッと変わりました。僕はあま
り新聞は読まないのですが、今回のお話を聞いて関心
がわきました。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 何故新聞社になろうと思ったか。

② ○○さんは新聞社の中で何の部署についているのですか。

新聞社に就いて嬉しかったのは、③ 休暇は週にどれくらいあるか
【講座の感想】お話を聞いての感想

新聞社の仕事の内容を聞いて、やりがいのある仕事なのだと改めて思いました。新聞社は、体力的にも精神的にもきついのですが、その分他者とのコミュニケーションで学ぶことがたくさんあるとのことでした。また、たくさんの人と話をする場合は、相手が話し終えるのを待たたり、敬意を忘れないことが大事だそうです。私は、新聞社が時に悲しかったり、時につらいことがありますが嬉しいことも、たくさんたくさんあると思います。喜田さんの「学び続ける姿勢は今でも続けている」という言葉に感銘を受けました。それは、今の私たちにもいえることであって部活も勉強も両方とも全力で取り組むということは将来にも活かすことができると思われ、これからも、その姿勢を続けていきたいと思いました。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

①記事の配置の決め方。

②取材ポイント。

【講座の感想】お話を聞いての感想

取材以外の雑談から、意外と大切な
(聞きおとしてはいけない)言葉があるといふこ
とに驚きました。地球の事を見聞きし又
書くことで地球の活土生化にもつながると
考えました。形容詞もつかわがしに見た
ままを表現する(色とりどりの→青や赤、黄の)
たしかにいろとりどりといわれる人によって変
わるけれど、具体的な色が書いてあると
明確にその場を想像できるのではな
かというふうに考えました。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 一面をうめるためにはどれだけの記事が必要なのか。

②

【講座の感想】お話を聞いての感想

今回、お話を聞いて、自分の知らないことをたくさん知ることができました。新聞社の仕事は、取材をして、その内容を記事にして発行する仕事だろうと、何となく思っていました。しかし、本当は、たくさんの方の苦勞と、心が痛くなるつらいことがあるということを知りました。

喜田さんが新聞社に入ろうと思ったとき、かけは、どちらが善か悪かを決める判断材料を支えるようなことをしたか、たというものでした。喜田さんの思う新聞社のイメージは、まさにそのやり方の中にあったそうです。明確になりたいものが決まっていたとしても、そのもののイメージなどから考えてみることもあるということが分かったのが、これからは、自分の好きなことは何なのか、そのときに興味をも、た物でもよいと思うので、そういうものを探してみたいと思います。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 上下関係が厳しいイメージがありますが、実際どうなのでしょうか。

②

【講座の感想】お話を聞いての感想

僕は「スマートニュース」を読みます。自分の知りたいニュースをすぐに見ることができ、おもしろいコラムも多いからです。逆に新聞は全然読みません。採寸のも面倒だし、読みにくいと思いつたからです。でも今回のお話の一つは新聞の良い所読み方を教わりました。その中でも実践しようと思ったのが番組欄の裏にある社会面を読むことです。これは必要最低限が多く載っているのです。その日の出来事を知ることができ、木曜日の朝刊です。早く読んでみたら、思っていたより読みやすい。これが最初の感想です。これからはネットニュースだけではなく、新聞を読もうと思いたん。そして記者の人達によって内容が違っているのだから読み比べも

たいと思います。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

①

②

【講座の感想】お話を聞いての感想

今日のお話を聞いて、新聞社の
仕事の楽しさだったり、苦労する所
などをもたくさん知れたのでよかったです。
そして、自分も家で新聞を
と、ていてそのことについてお話
できたことがうれしかったです。
新聞の面白さについて色々
教文えていただいたので、これからも
新聞をたくさん読んで知識を
取りこんでいこうと思います。
ました。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

①

②

【講座の感想】お話を聞いての感想

司会をやってみて、質問の答えから、気になり所をより深く質問するということが難しかったです。話を聞きながら、時間の管理や、次の質問の内容を並行して考えることが必要なので難しかったです。でも、そのことを、インタビューを仕事にされている先生に質問すると、意識していることやコツを教えてくださいました。それを意識すると、少しスムーズにできました。話の内容では、普段、知ることのない、新聞の書き方や、心がけをしてくれて、あまり新聞は読まない方だったけど興味をもてたので、少しずつ読んでみたいと思います。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 雑誌の編集者とかとは違うか。

② 忙しいか？

【講座の感想】お話を聞いての感想

新聞社で働くことは忙しそうということ以外考えたことはなかったのですが、今回話を聞いて忙しいことになりはじめる自由があるということを知りました。新聞社に入るためには、理系でも文系でもいしどこの学部でも大学を卒業していれば良いそうです。この点に、文系じゃ無いといけ無いと思っては、おどろきました。そして、勉強をするというよりも映画を見たり、遊んだりして様々なことを知り、感受性を豊かにしておくといいそうです。内容は楽しいものや辛いものもあるが世の中は楽ではないといけ無いという思いがある一方で、やりがいがあるんだろうなと思いました。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 新聞社ではたらくと思った理由

② 新聞社に入って新しく知った事や身についてたこと

【講座の感想】お話を聞いての感想

今回、新聞社の職業人講話を通して知らなかった事をたくさん知ることができた。新聞社といってもただ新聞を書くだけでなくたくさんの人に取材をしたり、地域のイベントに参加したりして地域とのつながりをととても大切にしているとわかった。また新聞社になるために高校や大学生活の中でしておいたほうがいい事など多くのことを新しく知ることができた。そして少しだけ新聞社という仕事に興味をもった。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① なぜ、新聞社に入社されたのですか。

②

【講座の感想】お話を聞いての感想

マスメディアは新しい情報を早く入手したから、

電話を1時間ぐ(回かけた)して大変そうだと

思いました。けれど、自分の記事を新聞に掲載するとき

の達成感ややりがいがある人だとうなると思いま

した。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

休日はある
休以上
文系理系
気にしてはく

① やりがいを感じる瞬間

* 取材 → 記事を書く

「悪者がいなくなり倒れている」

外とのつながり

② 一番楽しい作業は何か

【講座の感想】お話を聞いての感想

「新聞社」と聞くと、忙しそうではいても大変だというイメージがあったが、話を聞いて自分で道を開いていくやりがいのある職業だと感じた。外とのつながりを自分でつくっていかなければならぬ。いかにコミュニケーション能力、そして大学卒業の資格がいる為、学力、他にも語学力や様々な知識など色々な能力が必要で、身に付けた能力が発揮できる点が楽しそうだと思った。

人に学びや、楽しさを与えることのやりがいを聞いて「新聞社」などの人に文字や写真で伝える職業に興味を持った。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 配属先はどっや、て決まってるか？

② 必要な資格や持っている方が、良い資格はありますか？

【講座の感想】お話を聞いての感想

新聞記者さんが活動しているところを私達が見れるのはテレビの中での記者会見や事件がおこった時に関係者にマイクを向けて話を聞いているところくらいなので、やはりあまり良いイメージがなかったんですけど、今回お話を聞いてイメージが変わりました。1時間ごとに警察に連絡して、事件がおきていよいよ取材したり、月に1度泊まり勤務があったり、地道なことで成り立っている仕事だとわかりました。講師の喜田先生は物事の善悪を決めて記事にするのではなく、読者に情報を提示して、あなたはどう考えますか？”そう問いかけられるような記事を書きたいとおっしゃっていました。そんな喜田先生の記事を読んでみたいなと思いました。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 朝の何時ぐらいから仕事をしているのか

② 一番のやりがいは何か

【講座の感想】お話を聞いての感想

新聞社へ入るためには大卒以上ではないといけないが
文系・理系は問われないので入りやすい職業なんだと
知った。新聞社といえば記事のために常に走り回っ
て休みは新聞が休みの時ぐらいかなと思っていたが
休みは充実しているので休みの間にしっかり精気を養
うこともできそうだ。でも記者という仕事は人に取材し
て相手の職業などで被災された方や遺族の方の
お話しを聞くと心が痛むことがある。さらに今年はコロ
ナで人との接触をなるべくなくさないといけない
のでリモートの取材が増えたらいい。コロナで変化する生活に
新聞がどうなっていくのか果しみなところもある

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① どのくらい休みはありますか

② 今までど 印象に残った教材は何ですか

【講座の感想】お話を聞いての感想

喜田さんは何か仕事をする上で「これだけなら誰にも負けない」といえる何かが必要だとおっしゃっていました。

そのことは中学生のころから意識はしていましたが

しかし「これが私の武器」といえるものが何もなかった。

「いつか見つかる」といいながら、とぼんやり受身で待っていても結局

何も変わらなかつた。と思うので、見つかるために

高校生のうちにいろいろなことに積極的に関わって

いるように変わりたいと思っていました。また喜田さんは小学生

のころからの夢をつま通したとおっしゃっていました。私も小学生のころ

からの夢があります。実際はその夢は何かはわからず、貫通し

て、強い意志がなければ「できません」と勇気ももらえずにいた。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

①

②

【講座の感想】お話を聞いての感想

私が新聞社を選んだ理由が最近読んだ小説の主人公が記者だったからというものでした。実は私自身記者やマスコミはあまり好きではなかったのですが、今日話を聞いてそのイメージがガラッと変わりました。私は取材している人を見るとなんで全く配慮してないんだろう、と思っていたのですが、記者側もすごく気を使っているのだと知り、今まで私はかんちがいしていたんだと分かりました。これからはニュースや新聞を真剣に見ようと思いました。

絵

2.9.23

中村

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 新聞記事を書いていて楽しいと思えるときは？

② これからの高校生活で大切にしなければいけないことは？

【講座の感想】お話を聞いての感想

今回喜田さんの話を聞いて、新聞社には自分は記事の作成や取材などでとても忙しく、休みがない辛い仕事だと思っていました。しかし以外な事に自分の裁量で仕事が出来ると知り、とても驚きました。喜田さんも言っていました。マスコミは女兼ねられる存在であり、正直自分も好きではなかったのですが、取材するマスコミ側の話を今回聞いて、取材する方も辛い中、情報を求める人のためとしてほしいなと感じました。喜田さんも入学のために勉強をずっとしっかりしていたらそんなので自分も見習いたいと感じました。

【事前の質問】講師の先生に聞きたいこと

① 記事を書くうえで気を付けていることはありますか。

② 大学はどこかの学部(学科?)でしたか。

【講座の感想】お話を聞いての感想

新聞記者は、大きな話題になると、ニュースの現場に行き必死で

取材... と辛いイメージがあった。しかし実際の辛い点は他にもあ

りだと、楽しみもあると分かりました。小さい頃から正義の味方

憧れていたと聞き、とて強「意」を持って一途にならなければ

指せることは難しいと思うし、善悪を読者に委ねる新聞記者という

選択はとても現実的なものを感じた。取材をする相手にも様々な立

場や思いがあり、とて真正面から向き合えなければならぬ

仕事は、気持ちを受け止める強いメンタルが必要だと思った。

記事を書く際の言葉選びや写真のアングルなど、細かい所

も気を配っていると分かりました。1日の流れが毎日変わるという

こと知り、自分が予定を立て仕事を進める計画性の重要性を感じた。